

## 取扱いの趣旨

急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変に対するグルカゴンGノボ注射とヒューマリンR注の併用投与（GI療法）については、他に確立した治療薬や治療法があることから、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【注射】 《平成30年2月26日》

25 急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変に対するグルカゴンGノボ注射用1mg（溶解液付）とヒューマリンR注カート300単位の併用投療法）について

### ○ 取扱い

急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変に対するグルカゴンGノボ注射用1mg（溶解液付）とヒューマリンR注カート300単位の併用投与（GI療法）は、原則として認めない。

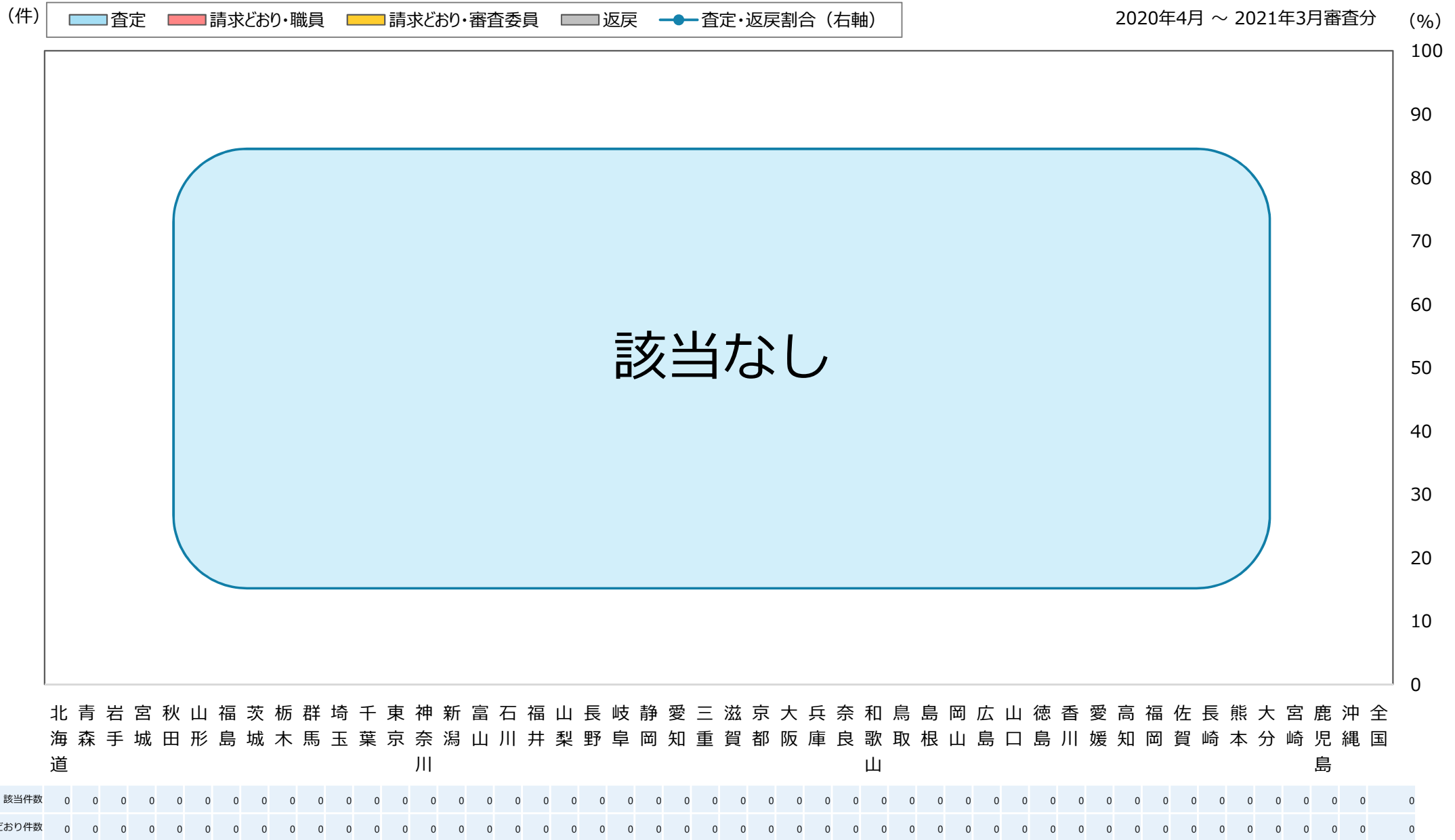
### ○ 取扱いを作成した根拠等

グルカゴンGノボ注射用1mg（溶解液付）とヒューマリンR注カート300単位の併用療法（GI療法）については、肝細胞再生の促進効果が期待される治療法である。

しかし、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変に対するグルカゴンGノボ注射用1mg（溶解液付）とヒューマリンR注カート300単位の併用療法（GI療法）は、他に確立した治療薬や治療法があるため、原則認められないと判断した。ただし、劇症化に進むおそれがある急性肝炎の場合等にも配慮し、症例によっては詳記等から判断するケースもある。

一般25 急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変に対するグルカゴンGノボ注射とヒューマリンR注の併用投与（G I 療法）  
の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】 急性肝炎、慢性肝炎及び肝硬変の確定傷病名に対してグルカゴンGノボ注射用1mg（溶解液付）とヒューマリンR注カート300単位の併用投与しているレセプト件数